

日本における令和4年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



人権の歴史について。

大昔、人権などという言葉や考えはなく、一部の権力者が思うがままに人々を支配するという時代が長く続きました。世界で初めて人権思想が語られたのは、1215年のイギリスのマグナ・カルタというもの。（日本は鎌倉時代）そして1689年にイギリスで国王の権利が制限され、議会と国民の権利について定められた『権利章典』がつけられました。そして、1789年にフランスでおこった革命の結果、『フランス人権宣言』というものが出されたのでした。

フランス人権宣言

第1条 人は生まれながらに、自由で平等な権利を持つ・・・。

江戸時代に身分制度があった日本でも、明治になり、国民を一つにまとめ、近代国家をめざすという目的から、身分制度が廃止されました。しかし、それは、人権を考えたものではなく、欧米諸国に負けない国力をつけるためという、国の政策の都合上であったのです。そのため、名目上は身分が無くなったけれども、裏では差別が残ってしまいました。（なんとその差別は現在でも残ってしまっているのが現状です。）

君たちには、まだたくさんの差別が日本にはあることを知り、差別を許さない心、差別をしない心を持つ人間になってほしいと思います。

人権を簡単に言うと、『自分が自分らしく幸せに生きる権利』と言いかえることができます。
ここで自分の生活をふりかえてみましょう。



やなせたかしさんによる
人権イメージキャラクターです。

自分の権利は主張したり、大切にしたりするけれど、他人には厳しい人がいませんか？
自分が面白いからといって、他人をいじめたり、からかったりしている人はいませんか？
その人が嫌いだからって、集団で無視しようぜ、なんていう働きかけをしていませんか？
その人が嫌がるあだ名で呼んでいませんか？
その人が好きなことを、否定したり、バカにしたりしていませんか？
その人の身体的特徴をからかっていませんか？
とおりに、『うざいんだよ』なんて言葉を吐き捨てて、相手に無用な不安感を与えていませんか？

これらは、その人が自分らしく幸せに生きる権利を侵害しているのではないのでしょうか？

気づいてください。これらのことは、人権侵害であるということ。